

計量計測企業の2018年3月期決算出揃う



計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8
(武蔵野ビル)
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間25,000円(消費税別)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

景気好調にささえられて、各社とも好結果

計量計測企業の2018(平成30)年3月期の最終決算が出揃った。好調な景気に支えられて、同期は各社ともおおむね好調な結果となった。各社の詳細はつぎのとおり。(次号以降も順次掲載)

長野計器

長野計器グループでは、圧力計測分野においては半導体業界向けや建設機械業界向け、米国におけるプロセス業界向けなどの需要が増加し、また、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の需要も増加した。さらに欧州における合併会社での稼働の貢献に加えて、7月に子会社とした双葉測器製作所の売上が乗せられたこと等により、売上高は5.04億4800万円(前期比14.1%増)となった。売上高増加の影響により営業利益は34億1000万円(前期比83.8%増)となった。経常利益は、持分法による投資利益の増加等により35億9900万円(前期比87.3%増)となった。親会社株主に帰属する当期純利益は、28億1800万円(前期比111.6%増)となった。

圧力計事業

国内においては産業機械業界向け、プロセス業界向けの売上が減少したものの、FA空圧機器業界向け、半導体業界向け、空調管材料業界向けの売上が増加した。米国子会社においては産業機械業界向け、プロセス業界向けの売上が増加した。圧力計事業の売上高は22.4億2000万円(前期比6.7%増)となった。

計測制御機器事業

自動車・電子部品関連業界向けのエアリークテスターおよび工場生産自動化設備用の空気圧機器の売上が増加した。また、7月に子会社とした双葉測器製作所による重錘形圧力天びんの売上が乗せられた。計測制御機器事業の売上高は56億6500万円(前期比12.5%増)となった。

ダイカスト事業

自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の売上が増加した。ダイカスト事業の売上高は48億8500万円(前期比25.9%増)となった。

その他事業

自動車用電装品の売上が増加した。その他事業の売上高は22億3200万円(前期比

今後の見通し

圧力計事業は、当期好調であった半導体業界向け需要は引き続き高水準での推移を見込み、当期より回復基調にあった米国子会社においても、石油掘削事業関連を中心とした受注回復による売上の増加を予想している。圧力センサー事業は、半導体業界向け、建設機械業界向けを中心に、当期に引き続き堅調に推移すると予想している。さらに、ドイツにおける合併会社での自動車搭載用圧力センサーの本格量産による増加を見込んでいる。計測制御機器事業においては、自動車・電子部品関連業界向けのエアリークテスターおよび空気圧機器の売上が増加するものと予想している。ダイカスト事業は、自動車業界向けのダイカスト製品を中心に、引き続き売上が堅調に推移すると予想している。

このような状況のもと長野計器グループは引き続き持続的成長を続けるため、企業価値向上経営を目指すための取り組みとして、収益性向上と投資効率の向上、財務基盤の強化などを推進する。研究開発部門においては、引き続き開発テーマ別のロードマップに基づき新規製品の開発と成果の早期化を図る。生産体制は、旺盛な受注状況に対応するべく、人員の増強を図る一方で、IoT思想による高効率投資の実施により労働集約型生産方式からの脱却を図る。

次期の連結業績見通しについては、売上高は好調な受注環境を背景に53.3億8000万円を見込む。損益面においては、営業利益は研究開発費、減価償却費、労務費等の費用増加を見込み32億2000万円、経常利益は32億円を見込む。親会社株主に帰属する当期純利益は、21億2000万円を予想している。(前提となる為替レートは、1米ドル＝110.5円、1ユーロ＝130円)



見やすいバックライト付大型表示
¥33,000(税抜)

今週の主な記事

- ① 計量計測企業の2018年3月期決算
- ② 2018年度計量士国家試験問題
- ③ 第16回計量士大会の5地区からの報告
- ④ NMS研究会報告 社説
- ⑤ 川崎市計量協会総会開く
- ⑥
- ⑦
- ⑧

ID:5139 (6月)
PW:tfmbtread



『ハカリのイシダ』の自信作

あらゆる計量現場で効率作業のお手伝い。

デジタル重量台秤

- 重量格差の大きい製品も1台でOK!
- ワンタッチ切替で計数作業を実現
- チェッカー機能で品質向上に貢献
- 充実のオプション

蛍光管表示
AC電源タイプ

IT Series ITX-6



IT Series ITX-30



IT Series ITX-150



型番	ITX-6		
ひょう量(切替)	1500g	3000g	6000g
目量	0.5g	1g	2g
計量皿寸法	200mm(横)×250mm(奥行き)		

型番	ITX-30		
ひょう量(切替)	6kg	15kg	30kg
目量	2g	5g	10g
計量皿寸法	330mm(横)×310mm(奥行き)		

型番	ITX-150		
ひょう量(切替)	30kg	60kg	150kg
目量	10g	20g	50g
計量皿寸法	380mm(横)×530mm(奥行き)		

液晶表示・バッテリータイプの<ITBシリーズ>もラインナップしております

株式会社 **イシダ**

本社/京都市左京区聖護院山王町44番地 TEL.(075)751-1686(直) 〒606-8392

カタログ等詳しい資料をご希望の方は、左記へお問い合わせ下さい。

http://www.ishida.co.jp